

## 那覇高校国語科 課題 意見文

COVID-19 の影響による休校期間が延びたため、例年GWの課題となっていた「意見文」を前倒して課題としたいと思います。

### 規定

- ①400字詰め原稿用紙5枚以内。(2000字以内)。ただし、4枚は埋めること。(最短、5枚目の最初の一文字までは記入されていること。)
- ②原稿用紙の使い方に留意し、正しい記述を心がけること。原稿用紙はB4サイズを用意すること。

### 提出

休校明けの最初の授業

### 評価方法

- ★提出者→5～8点(但し、5枚目に達していないものは更に減点する。)
- ★学級代表→9点
- ★校内弁論大会弁士→10点(校内弁論上位者は更に得点を加算。)

作文を書くのは苦手だなあ、意見文ってどう書けばいいんだろう・・・と思っているあなたへ

今現在、毎日、何をして過ごしていますか?「学校に通えない」という、1年前には思いもしなかった、それどころか2～3か月前ですら考えていなかった事態が、今、みなさんに降りかかっています。世界で起きている様々な問題は、とても遠くのここのように感じてきたかもしれませんが、実際に自分のこととして対処しなければならなくなることもあるのだと、今回、痛感した人も多いのではないのでしょうか?

世界は多くの課題にあふれています。今回の COVID-19 に関することだけでも、ウイルス対策をどうすべきかという公衆衛生の問題、集団感染が起こった時にどうすべきかという危機管理の問題、感染防止のために仕事ができなくなっている人の補償をどうするかという経済的観点や政治体制の問題、危機に瀕したときに継続が難しくなる文化の問題、人と繋がるのが難しくなっている人々の心的ケアをどうすべきかという心理学的問題など、「気になること」は数限りなくあります。そして、その「気になること」こそが意見文の種になります。

意見文の種は、言い換えれば「テーマ」です。「テーマ」が決まったら、その「テーマ」を人に伝えるために必要な材料を集めましょう。ある新聞社のサイトを覗いてみると、COVID-19 に関連した記事として「生活できない・・・」塩水飲んで空腹を満たす コロナで失われた日常、タクシー運転手の苦悩」というものが見つかりました。これは上記の「経済補償」のテーマと繋がります。また、「裁縫の経験なし 市役所に届いた手作りマスク70枚 「休校をプラスに」変えた中3の手紙」という記事もありました。心理学的な問題の材料になりそうですし、この辛い状況を打破するヒントにもなりそうな記事です。今日一日の見出しだけでも、「意見文の種」がいくつもありました。いくつかのサイトを回るともっと見つかるかもしれません。アンテナを敏感にしてネットサーフィンすることで、自分の「テーマ」に合った材料を集めましょう。もちろんネットの中だけでなく、自分の周辺に起こったことを材料に盛り込むのも効果的です。読む人が、より身近に感じられる文章が書けますよ。

材料を集めたら、その中でどれを使うのかを考えます。せっかく集めたので全部入れたいところですが、ただただ並べるより、その材料のどこが魅力的(みんなに紹介したいと思ったの)かを考えて、自分の思いものせてみましょう。そして、材料と絡めつつ、自分の意見をまとめていきましょう。誰かが言ったことでも構わないけれど、少しだけ自分の色を混ぜてみてください。有名な人が言っていることは、素敵な意見も多いけれど、それだけ書いても「あなたの意見文」にはなりません。その意見に何か付け足してみるとか、一部分だけ否定してみるとか、よりあなたの意見に近づけるようにしてみましょう。その時にはもともとなった意見が誰のものかもちゃんと書いてくださいね。すべて自分の考えのように書いてしまうと「パクリ」になってしまいますからね。

最後のまとめには、できるだけ「今が少しでも良くなるためのアイデア」を入れましょう。その時には、「国」ができること、「県」ができること、「市町村」ができること、「学校」ができること、「民間企業」ができること、そして「私自身や、多くの個人」ができること、というように分けて考えた上で整理すると、具体的で、実際に実現可能なアイデアに近づきます。小さなことでもいいから、あなた自身の気づきを盛り込むことで、あなたにしか書けない意見文が仕上がるはずですよ。

いつもよりも、取り組む時間がたっぷりあります。ぜひ、自分事としてじっくり深く「テーマ」を掘り下げてみてください。期待しています。